

ぬまた未来共創会議記録



ぬまた未来共創会議Vol.1ぬまたの誇る食を通して“観光・産業・地域”を元気にする新しいアイデア
日時：令和4年10月5日（水）午後7時～午後8時35分 場所：防災会議室 404・405

ぬまた未来共創会議Vol.1ぬまたの誇る食を通して“観光・産業・地域”を元気にする新しいアイデア

日時：令和4年10月5日（水）午後7時～8時35分 場所：防災会議室404・405



会議の概要

ぬまた未来共創会議

「ぬまた未来共創会議」は、持続可能な価値ある沼田市を市民の皆さんと「共創」（きょうそう）する沼田市の新しいチャレンジです。



【ぬまた未来共創会議Vol.1】

ぬまたの誇る「食」を通して“観光・産業・地域”を元気にする新しいアイデア

ぬまたにはまだまだ世界に誇れる食があるはず。「食」でぬまたを、もっと元気に。

開催日時 令和4年10月5日（水）午後7時～ 場所 テラス沼田4階・防災会議室

参加申込 市ホームページからの申し込み、または沼田市企画政策課の窓口で配布している申込用紙で申し込み。（オンライン参加可）

対象者 市内に居住する人、市内に勤務する人、または市内に通学する人

（お問い合わせ）沼田市総務部企画政策課
Tel:0278-23-2111 Fax:0278-24-5179 Mail:kikaku@city.numata.lg.jp



お申し込みはこちら
（沼田市HP）

ぬまた未来共創会議Vol.1

テーマ

ぬまたの誇る食を通して“観光・産業・地域”を元気にする新しいアイデア

概要

ぬまたの誇る食を通して「観光・産業・地域」を元気づけるアイデアは、まだまだあるはずです。グループワークを通してアイデアを出し合い、ぬまたの未来を創造するヒントを探します。

日時

令和4年10月5日（水） 午後7時～午後8時35分

場所

テラス沼田4階／防災会議室404・405

次第	内容
開会	会議の開始を宣言します。
挨拶	沼田市長 星野 稔
資料説明	本日の流れと“4コマ”で「沼田市の観光」を説明します。
グループワーク アイスブレイク	『「実は・・・」自己紹介』という特別な自己紹介を行います。
グループワーク 意見交換	ブレインストーミング形式（グループのメンバーで同じテーマについてアイデアをたくさん出し合うこと）でグループワークを行います。
各班発表	各班で出た意見の共有を行います。
市長所感	沼田市長 星野 稔
閉会	会議の終了を宣言します。

出席者

計25名（グループワーク参加者のほか運営、オブザーバー等含む）

ぬまた未来共創会議Vol.1ぬまたの誇る食を通して“観光・産業・地域”を元気にする新しいアイデア

日時：令和4年10月5日（水）午後7時～8時35分 場所：防災会議室404・405



グループ1ホワイトボード詳細

※ 解像度の都合により、画像から視認しづらい箇所については、補記しています。

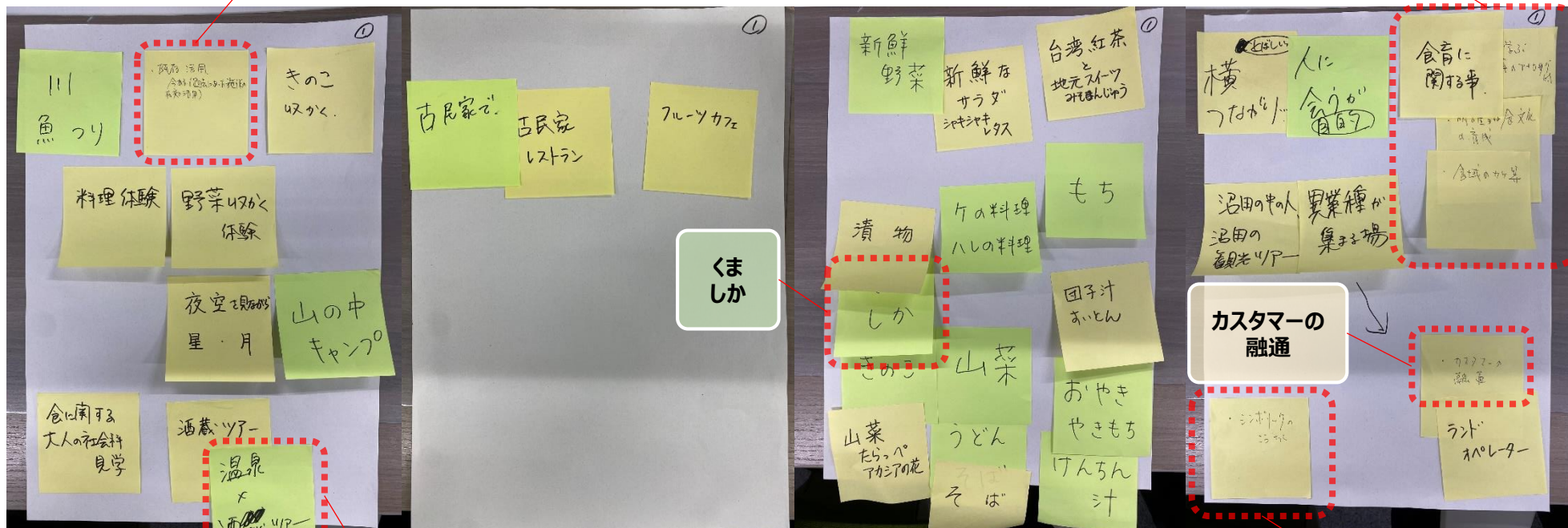
既存活用
今ある
(過去にあった)
施策の有効活用

食育に関する事

ITに学ぶ
DAO等の
アナログ活用

明確な食文化の
育成

食域のカケ等



温泉
×
酒蔵ツアー

シンボリックの
構築



グループ1のキーワード一覧

- 川 魚釣り
- 既存活用 今ある（過去にあった）施策の有効活用
- きのこと 収穫
- 料理体験
- 野菜収穫体験
- 夜空を見ながら 星・月
- 山の中 キャンプ
- 食に関する大人の社会科学見学
- 酒蔵ツアー
- 温泉×酒蔵ツアー

- 古民家で
- 古民家レストラン
- フルーツカフェ

- 新鮮野菜
- 新鮮なサラダ シャキシャキレタス
- 台湾紅茶と地元スイーツ みそまんじゅう
- 漬物
- ケの料理 ハレの料理
- もち
- くま しか
- 団子汁 すいとん
- きのこと
- 山菜
- おやき やきもち
- 山菜 たらっぺ アカシアの花
- うどん そば
- そば
- けんちん汁

- 横つながり・・・（とほしい）
- 人に会うのが目的
- 食育に関する事
- ITに学ぶDAO等のアナログ活用
- 明確な食文化の育成
- 食育のカケ等
- 沼田の中の人、沼田の観光ツアー
- 異業種が集まる場
- シンボリックの構築
- カスタマーの融通
- ランドオペレーター



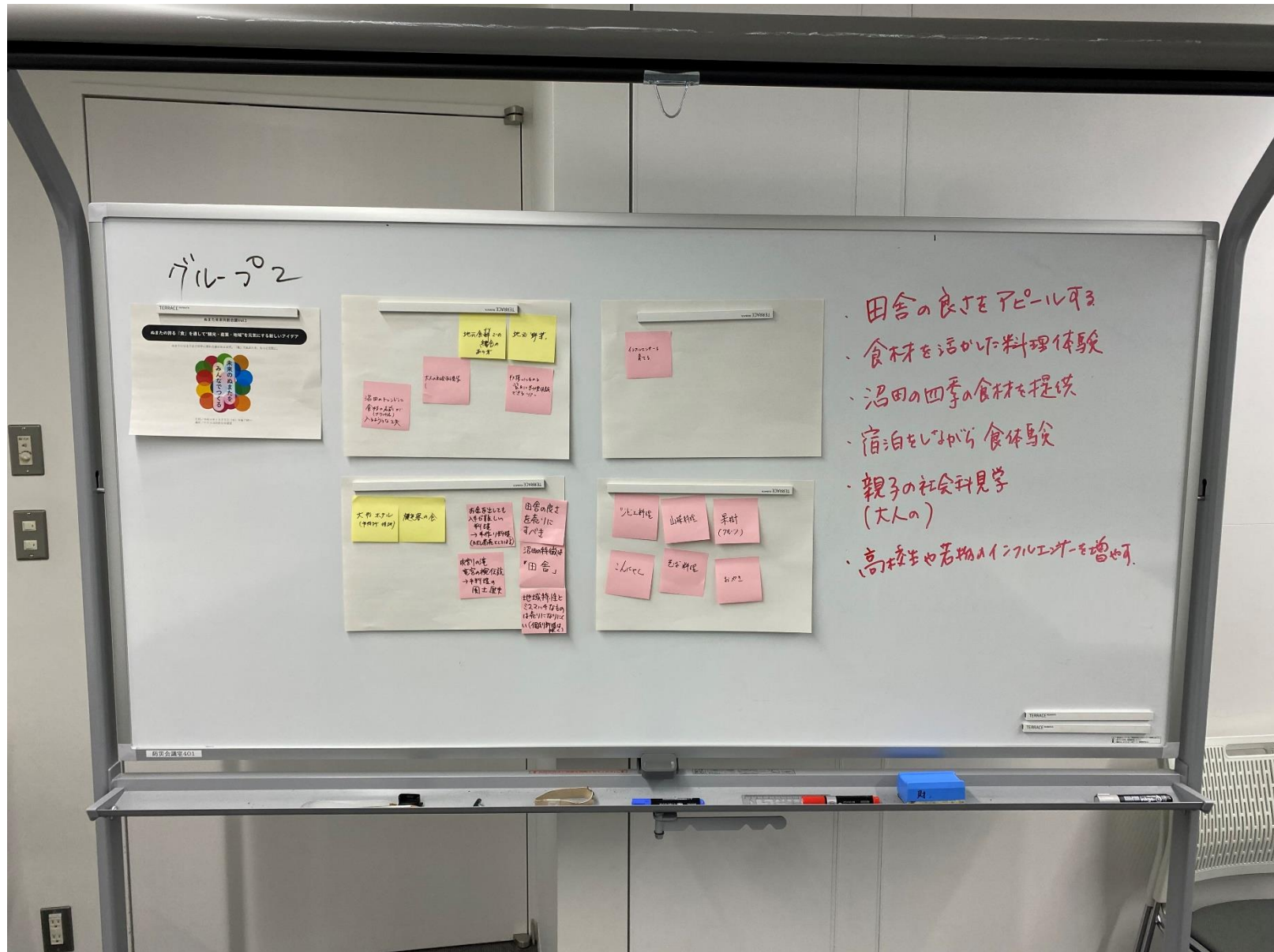
グループ1の発表要旨



- 沼田の食材がおいしいのは、当たり前。食材も意見としてたくさん出たが、食材にはフォーカスせずに話し合いを進めた。
 - テーマは、食であるが、食に関連して「観光」で人が来てくれるにはどうしたらよいかを話し合ったところ、まずは人に会いに来るのではないかという意見があった。私（発表者）は、東京から移住して来たが、それ以前の約8年間は、毎年沼田に通っていた。沼田に素敵な方がおり、その方に会う目的だった。もちろん、いろいろな物がおいしいというのは観光の動機になるが、やはり人に会いに来るとするのが一番大きいのではないかと思う。人は、ほかに替えが利かない。その人に会うにはそこに行くしかない。それが動機としては一番強いのではないかという意見があった。
 - 資料説明の中で、日帰りで帰ってしまう人が多いということがあった。例えば、リンゴ狩りで沼田市に来た人に、次にどこに行くかと訪ねられた時、なかなか、次にここへ行ったらどうかと紹介するものがないのではとの意見があった。これについて話し合う中で、ツアーで楽しませてはどうかという意見が出た。例えば、とんかつを食べたあとには、酒蔵見学、宿泊は老神温泉でといったツアーを提案してあげることなど。
-
- 意外に沼田のことをあまりよく知らない市民が多いという意見もあった。沼田のことを市民がもっとよく知って、地域のみながランドオペレーターになってはどうかという意見があった。沼田を知る人が増え、ランドオペレーターになれば、沼田全体がテーマパークのようになる。
 - 私（発表者）が今活動させてもらっているのが、「石墨棚田」という場所だが、群馬県の中で唯一「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」に指定され、さらには「指定棚田地域」にも指定された。石墨町は、とても素晴らしい場所だが、先日、沼田西中学校で講演をさせていただく機会があり、講演の中で「石墨町を知っている人」と聞いたら、中学3年生の生徒が50人いる中で一人も知らなかった。かなりショッキングな出来事だった。やはり、沼田のことを市民がもっとよく知ろうよというのを願っていたいなと思った。
 - 横のつながりという意見もあった。異業種の人たちが仲良くして、情報交換をして、常に沼田には何があるのかということを経験し合うことも重要。今、南郷の曲がり屋で屋根の葺き替えをやっているということをグループの中で話したら、知らなかったという方もいた。こうした沼田の状況、楽しいことや大変なこともそうだが、これをみんなで共有しようというのが、グループの話し合いの中心にあった。



グループ2ホワイトボード全景



- 田舎の良いところをアピールする
- 食材を活かす料理体験
- 沿田の四季の食材を提供
- 宿泊をしながら食体験
- 親子の社会科学習 (大人)
- 高校生や若者インフルエンサーを増やす

ぬまた未来共創会議Vol.1ぬまたの誇る食を通して“観光・産業・地域”を元気にする新しいアイデア

日時：令和4年10月5日（水）午後7時～8時35分 場所：防災会議室404・405



グループ2ホワイトボード詳細

※ 解像度の都合により、画像から視認しづらい箇所については、補記しています。

②

地元食材での給食のあり方

地元食材での給食のあり方

地元野菜

大人の社会科見学

収穫したものを翌日に手料理体験できるツアー

沼田アトリエに食材の名前が(ブドウ畑)入るような工夫

②

イベントを育てる

収穫したものを翌日に手料理体験できるツアー

②

大形ホテル(伊根町管理) 観光客の食

観光客の食

お金を払っても入りが難しい料理 → 手作り料理(お土産販売と連携)

田舎の良さを売りにすべし

沼田の特徴は「田舎」

吹雪の境電宮の桜伝説 → 手料理の園土歴史

地域特性と2024年ものは売りにしたい(個別料理は)

②

ジビエ料理

山採料理

果樹(フルーツ)

こんにゃく

そば料理

おやき



グループ2のキーワード一覧

- 地元食材での給食のあり方
- 地元野菜
- 収穫したものを翌日に手料理体験できるツアー
- 大人の社会科見学
- 沼田のトレンドに食材の名前（ブランド名）が入れるような工夫

- インフルエンサーを育てる

- 大型ホテル（市役所跡地）
- 観光客の食
- お金を出しても入手が難しい料理→手作り料理（ただし商売としては？）
- 吹割の滝 竜宮の椀伝説→手作りの風土・歴史
- 田舎の良さを売りにすべき
- 沼田の特徴は「田舎」
- 地域特性とミスマッチなものは売りになりにくい（個別料理は除く）

- ジビエ料理
- 山菜料理
- 果樹（フルーツ）
- こんにやく
- そば料理
- おやき



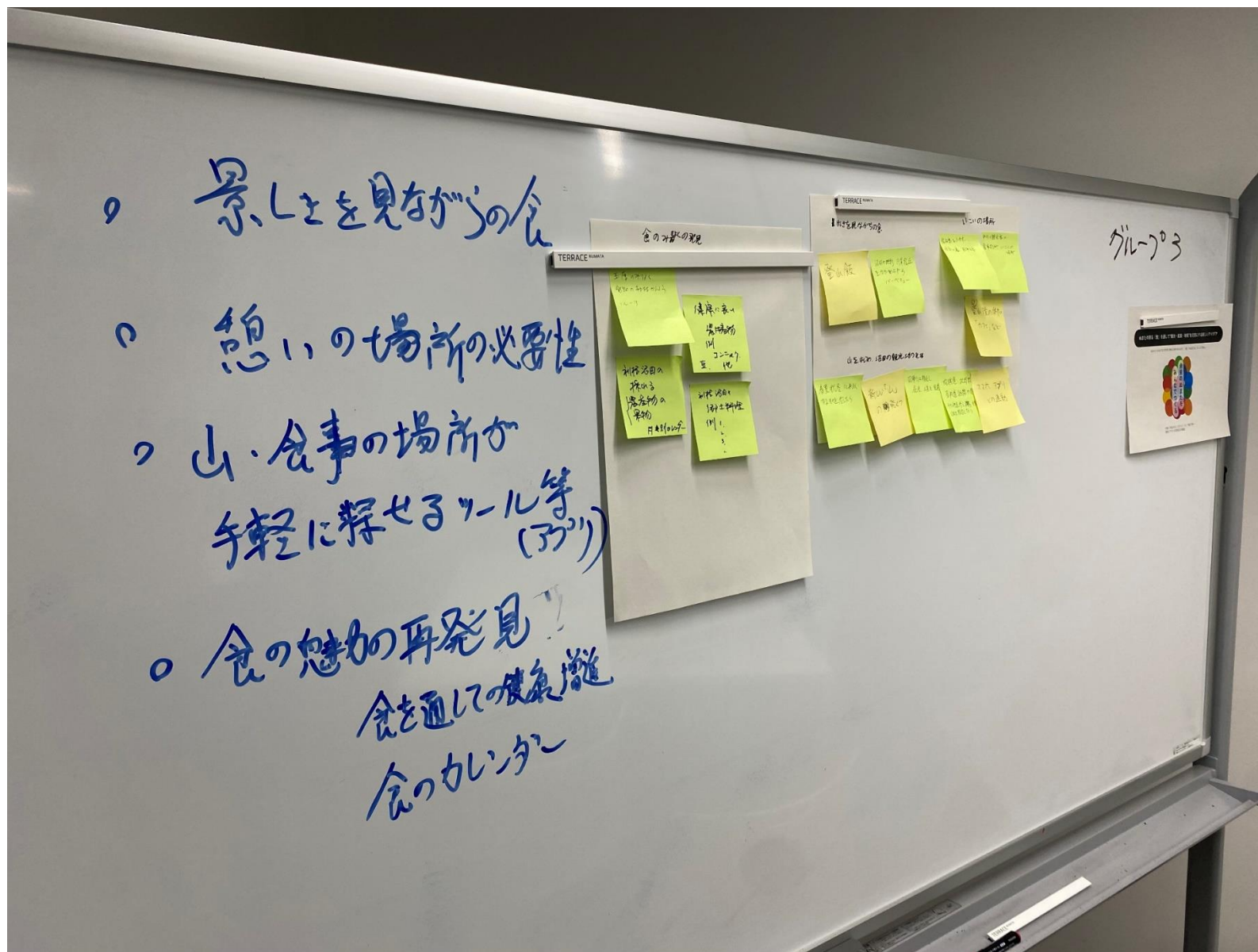
グループ2の発表要旨

- グループの話し合い全体では「田舎の良さをアピールする」という共通のワードがあった。
- 食材の良さを生かした料理の体験などができたら楽しいのではという意見があった。沼田にはたくさんの食材があるが、東京からの移住者である私（発表者）が沼田に来て驚いたのは、菊芋がそのまま売られていることや、キュウリの種類がたくさんあること。トマトなどであれば東京でも種類はあるが、なすやサツマイモなどにもさまざまな種類があることには驚いた。そうしたさまざまな食材を、この食材はこういう食べ方をしたら一番おいしいなど、ちゃんと「料理体験」のような形で体験してもらえたら、沼田を知ってもらうきっかけになるのではと思う。
- 沼田の四季の食材を「田舎料理」として提供するのがよいのではとの意見があった。これに加えて「宿泊しながら食体験」というのは、例えば、1泊2日で観光に来た時に、初日は、沼田の食材をつかった料理を提供し、その後、収穫体験などをして温泉を楽しむ。翌日は、自分たちで収穫した食材をつかって料理を作ることで、料理として提供されているものはこれだけの手間がかかっているのだということ、例えばこんにゃく一つでも、これだけの時間と材料がないとこんにゃくにはならないということを経験してもらい、スーパーとは違う物の価値を体験できるツアーを1泊2日でできたら素敵だなというのが、全体をまとめた意見としてあった。
- 子どもの頃の社会科見学と言えば、学校が用意したバスに乗ってただ行っていただけであったが、大人になって同じ体験をしたら、こんなに働いているんだということや、コストパフォーマンスを上げるための努力などがわかって面白かったので、沼田で親子の社会科見学や大人だけの社会科見学、例えば農業を楽しむことと食べることをセットにした体験や、林業だったら木のことを学びながら、木に関する物をつくるなど、子どもだけではなく大人のための社会科見学的なものがあったとしても楽しいのではないかという意見があった。
- 沼田の良さを沼田の高校生をはじめとした若者にインフルエンサーになってもらって増やすといった意見があった。高校生たちはお金をもらいたくてInstagramをやっているわけではないので、市民でスマホを持っている人たちは、その子たちを応援して「いいね」をいっぱい押してあげればよいと思う。高校生たちは画像を上げて、例えばこんな体験をしたよ、こういうものを食べたらおいしかったよ、「だんご汁最高！」などの投稿に、沼田の人たちがみんな「いいね」を押す。だんご汁に400件も「いいね」がつけば、次に沼田の検索をした人たちが、「だんご汁、これは食べなくては」と思えるように、高校生や若者をうまく巻き込んで、沼田の良さを伝えられればよいと全体としてまとめた。





グループ3ホワイトボード全景





グループ3ホワイトボード詳細

※ 解像度の都合により、画像から視認しづらい箇所については、補記しています。

玉原の魅力
発知の森林観光
フルーツ

食の食の魅力の発見

玉原のみはく
発知の森林観光
フルーツ

健康に良い
農産物
例
コンニャク、
豆、他

健康に良い
農産物
(例) コンニャク、
豆 ほか

利根沼田の
採れる
農産物の
果物
月別カレンダー

利根沼田の
採れる
農産物
果物の
月別カレンダー

利根沼田の
農産物の
例
1.
2.
3.

宿泊客をふやす
吹割りの滝、
老神温泉

景色を見ながらの食

登山飯

沼田の地形 河岸段丘
をながめながら
バーベキュー

沼田の地形
河岸段丘を
眺めながら
バーベキュー

憩いの場所

宿泊客をふやす。
吹割りの滝、老神温泉

市内の観光客の
食事する所、いこいの
場所

登山後の休憩
「カフェ」など

山をはじめ、沼田の観光地を発掘

春夏秋冬に
来なくなるもの
を考えたら

新しい「山」
の発見

日帰りに特化し
昼食 土産を見直す

南越道、北関東道
圏央道沿線の道の駅
その他を考慮、利
沼田に限定しない

スマホアプリ
との連携

春夏秋冬に
来なくなるもの
を考えたら

日帰りに特化し
昼食 土産を
見直す

関越道、北関東道
圏央道沿線の道の駅
その他を考慮、
群馬、利根沼田に限定しない



グループ2のキーワード一覧

食の魅力の発見

- 玉原の魅力 発知の森林観光 フルーツ
- 健康に良い農産物（例）コンニャク、豆ほか
- 利根沼田の採れる【農産物・果物】月別カレンダー
- 利根沼田の郷土料理

景色を見ながらの食

- 登山飯
- 沼田の地形 河岸段丘を眺めながらバーベキュー

憩いの場所

- 宿泊客をふやす 吹割の滝、老神温泉
- 市内の観光客の食事する所、いこいの場所
- 登山後の休憩「カフェ」など

山をはじめ、沼田の観光地を発掘

- 春夏秋冬に来たくなるものと考えたら
- 新しい「山」の発掘
- 日帰りに特化し 昼食 土産を見直す
- 関越道、北関東道、圏央道沿線の道の駅その他を考え、群馬、利根沼田に限定しない
- スマホ アプリとの連動



グループ3の発表要旨

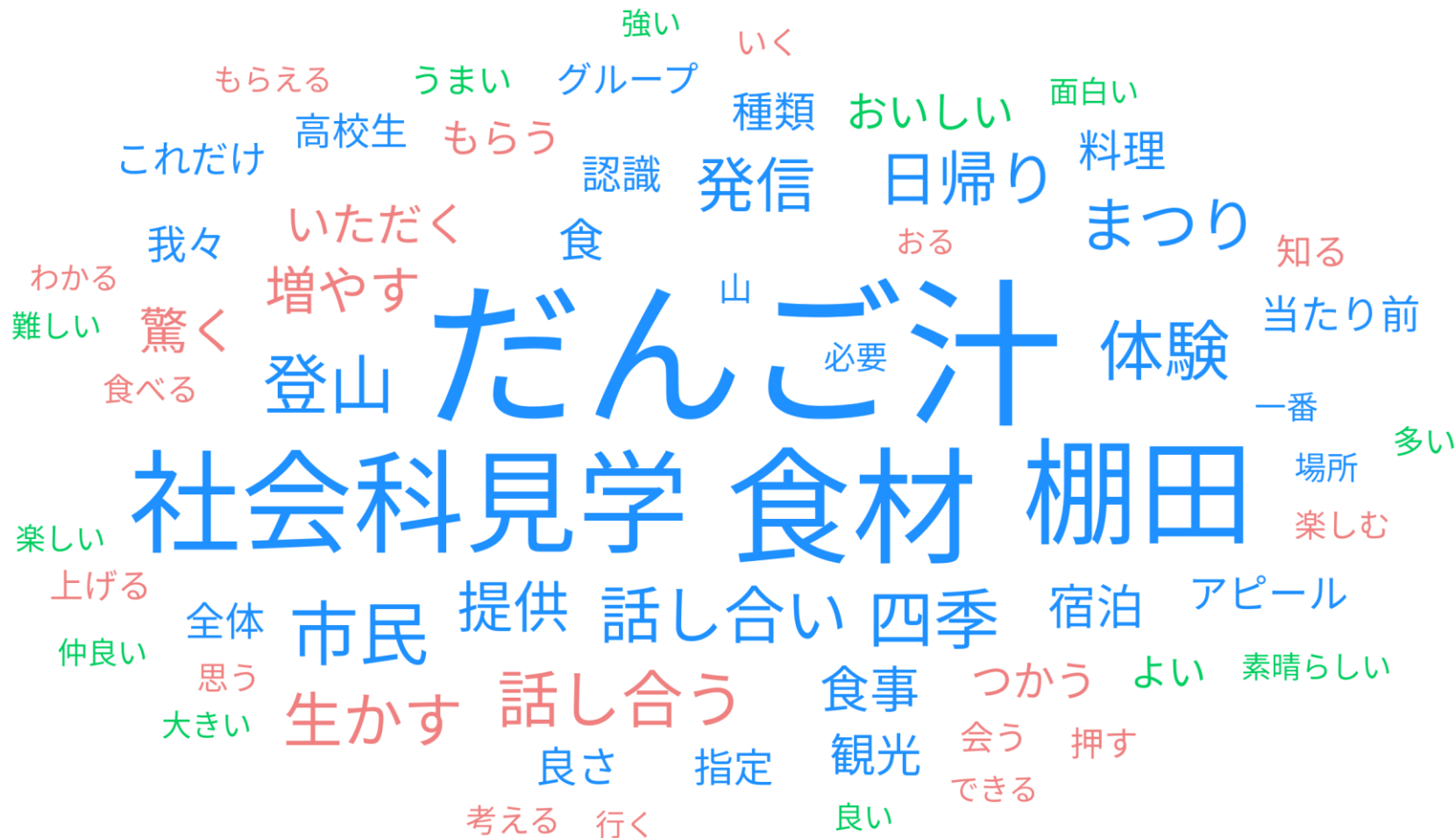


- 沼田の地形、いわゆる山があって、川があって、特に河岸段丘はプラタモリでも有名になったが、そうした地形を生かして、当然観光で来ていただくということは時間を過ごすことであるから、食事もある。食事については、私たちは当たり前のように食べているが、先ほどの東京から来た発表者のお二人（グループ1・2の発表者）のように、外から来て沼田の食材、あるいは食事を、いろいろな種類があるなど非常にほめていただいたが、我々にはわからないことが多い。地元でその食材で育ててきて、当たり前だと思っている。しかしながら、現実には、山のものもあるし、果物はあるし、ないのは海のものだけ。もう一度食を再発見するためにも、我々（発表者）にとっては当たり前だが、外から来た人からはどう思うのだろうかというのを、外の人と意見交換する場なども必要ではないか。
- 今は、登山に非常に熱心に取り組まれている人も多い。沼田の山を登山愛好家にアピールした上で、登山の「食事」について、例えば、おむすびを持って行くといっても、コンビニエンスストアしかないのではなく、常温で食べられる、いわゆる日帰り登山用の食事も、開発・研究して発信していったらどうかという意見があった。
- 街なかに歴史的建造物が徐々に整備されており、また、沼田公園も含め、歴史はあるし、真田はあるしというので、そうしたトピックスで来ていただくのは良いが、それでは駐車場はどこか、あるいはちょっと休むところはどこにありますかというの、外から来たらどこだというのがわからない。沼田ならではの「憩いの場所」沼田の街に来て、空気を吸って、触れて、くつろげる場所が必要ではないかというのが、意見としてあった。
- 若い人たちは、当然スマホを使って情報を仕入れる。グループ2の発表にもあったが、今の当たりのツールを使って発信力を高めていくことが必要ではとの意見があった。我々（発表者）の年代は文章やテレビなどでないと情報を受け止めることが難しいが、今の若い人たちは違う。年代によってうまく発信をしていくということも考えなくてはいけないという意見があった。
- 旅館に泊まってもらって、そこで利根沼田の食材、希少なものもあるし、一般のものもあるし、そして沼田にしかないものもある。そういったものを踏まえて食事を出すことで、旅館でもてなしを考え、磨き上げ、そうしたことを沼田の総合的な認識として発信していく必要もあるのではとの意見があった。
- 昭和村では、食のカレンダーがある。沼田も独自のカレンダーがあってよいのでは。これだけの食材があるというのを市民が日々認識し、あるいは観光客にも売るなり、提供するなりという形で広めていくということが必要ではとの意見があった。
- 宿泊客を増やさなくてはならないということはあるが、交通の便が良いというのは間違いない。やはり、日帰り客が多いというのは、沼田の交通の便の良さに起因しており、逆に言うそれは、一番の強みであるとも考えてもよい。単に、宿泊客を増やすということだけではなくて、日帰り客を増やすのも良い。いかに沼田に来ていただいて、お金を落としてもらって、沼田を理解してもらって、また来たいと思ってもらえるかどうか。四季折々、冬の雪、春の新緑、夏の登山、秋の紅葉と、沼田は四季がはっきりしている。四季折々の沼田を楽しみに来ていただきたい、何度も来ていただきたいというのを考えた時に、季節それぞれに一つくらいはイベントがあってもよいのではとの意見があった。
- 資料で提供されたGoogleトレンドの結果に「沼田まつり」がなかったことには驚いた。利根沼田の人たちは、一番のお祭りだと思っているのに、Googleトレンドの結果には「沼田まつり」「おぎょん」というのは、一つも出てこない。これも中の認識と外の認識の違いなのかと思う。沼田まつりは、3日間やるわけで、全てに出ようと思えば2日間は宿泊するわけだから、そういうこともうまくアピールしていくのがよいのではとの意見があった。



発表要旨のワードクラウド

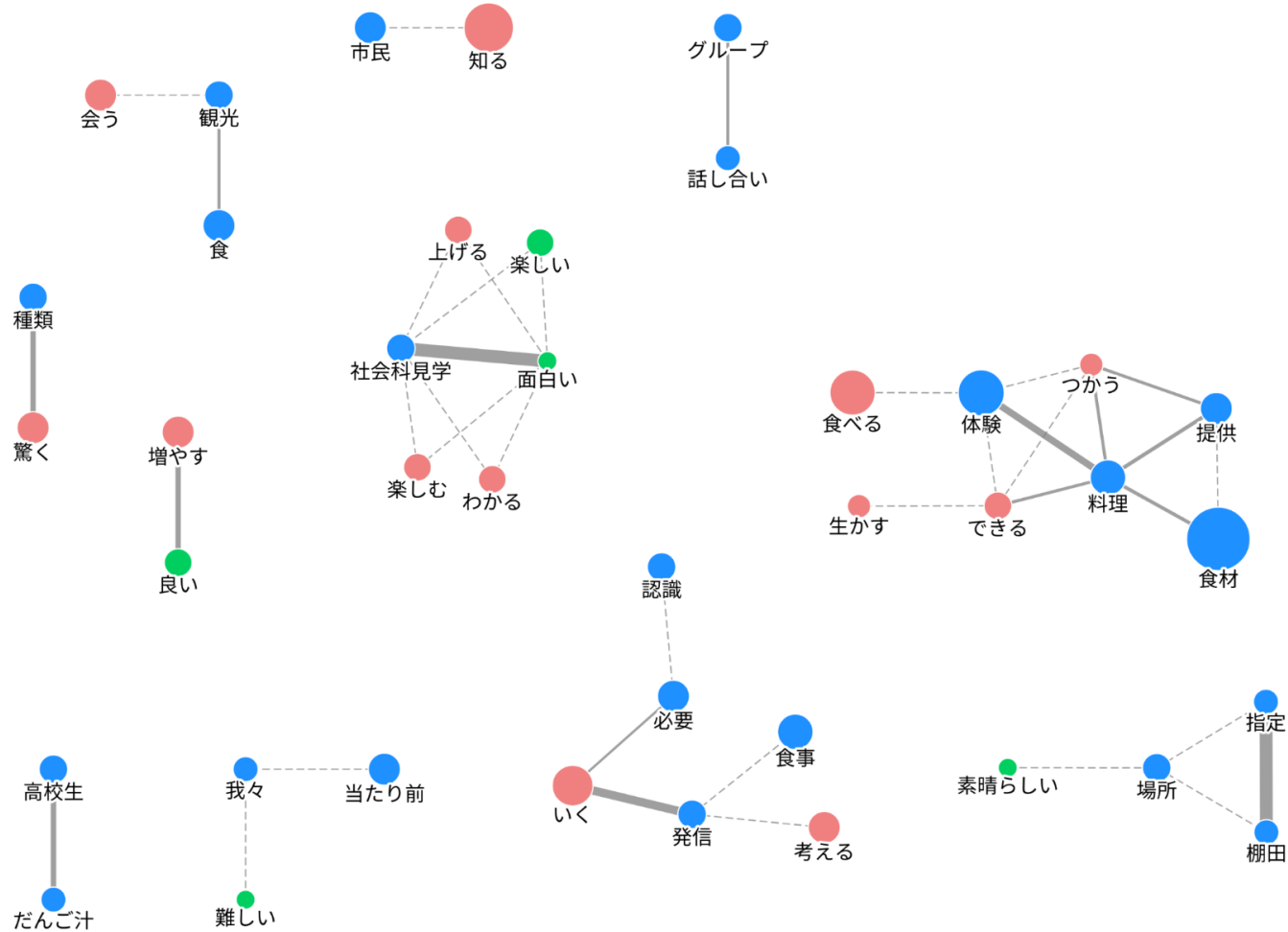
全班の発表からスコア（単語の「重要度」）が高い単語をAIが複数選び出し、その値に応じた大きさを図示しています。単語の色は、品詞の種類で異なっており、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表しています。





発表要旨の共起キーワード

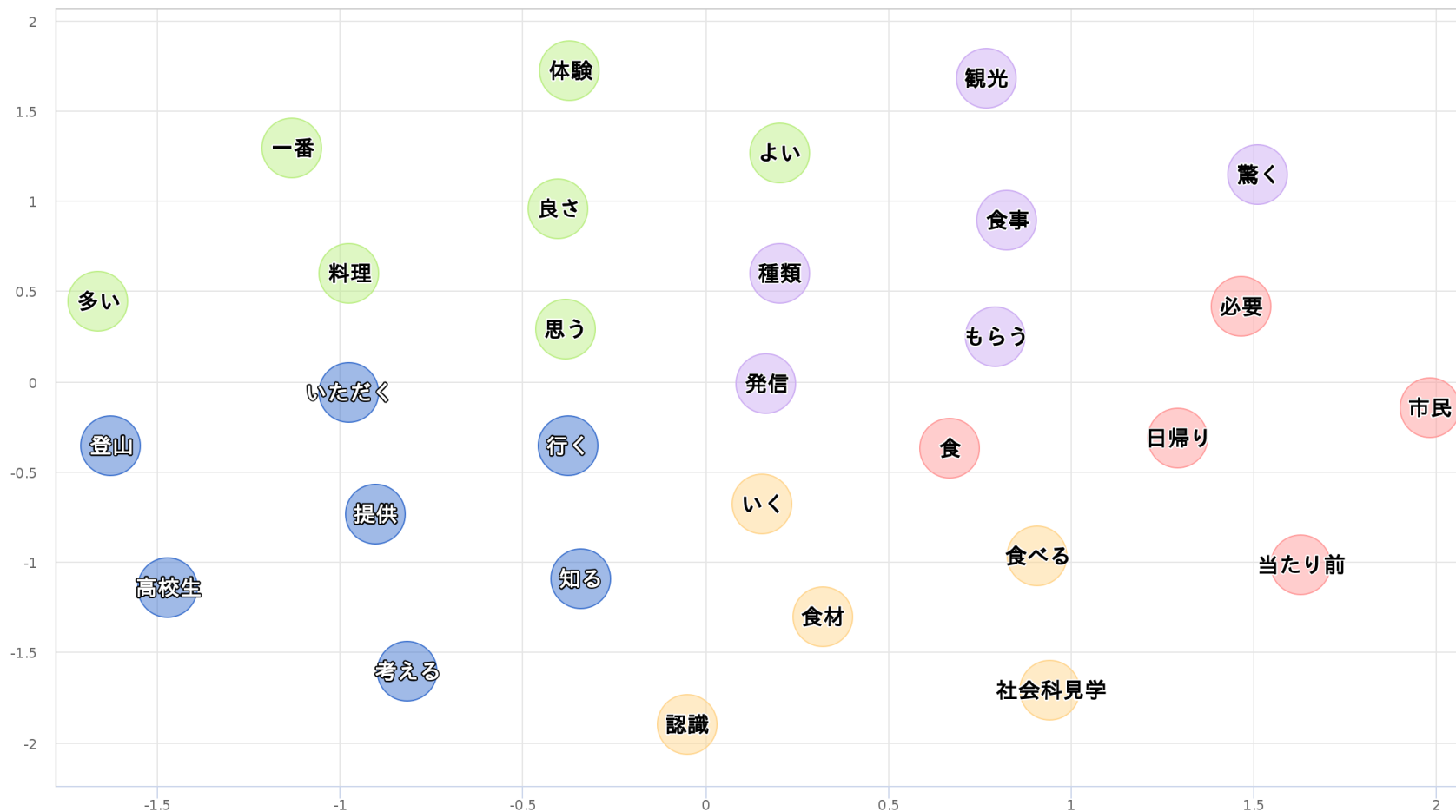
共起とは、一文（改行や「。」などで区切られた各文）の中に、単語のセットが同時に出現するという意味です。共起回数は、一緒に出現した回数を指します。共起キーワードは、全班の発表に出現する単語の出現パターンが似たものを線で結んだ図で、出現数が多い語ほど大きく、また共起の程度が強いほど太い線で描画されます。





発表要旨の2次元マップ

2次元マップは、全班の発表の単語の出現傾向を全体的に俯瞰するためのもので、「近くにある単語同士は同じ場所に出てくる傾向が強い」ということを意味しています。（単語の出現傾向が似た単語ほど近く、似ていない単語ほど遠く配置）



ぬまた未来共創会議Vol.1ぬまたの誇る食を通して“観光・産業・地域”を元気にする新しいアイデア

日時：令和4年10月5日（水）午後7時～8時35分 場所：防災会議室404・405

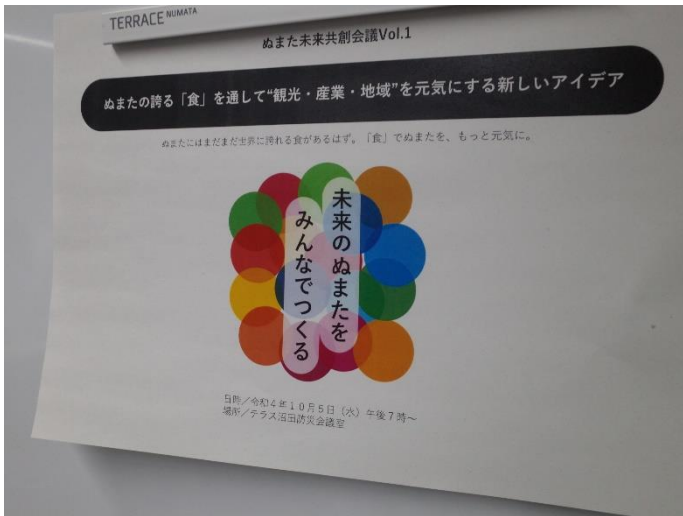
記録写真：グループワーク・発表の様子①



ぬまた未来共創会議Vol.1ぬまたの誇る食を通して“観光・産業・地域”を元気にする新しいアイデア

日時：令和4年10月5日（水）午後7時～8時35分 場所：防災会議室404・405

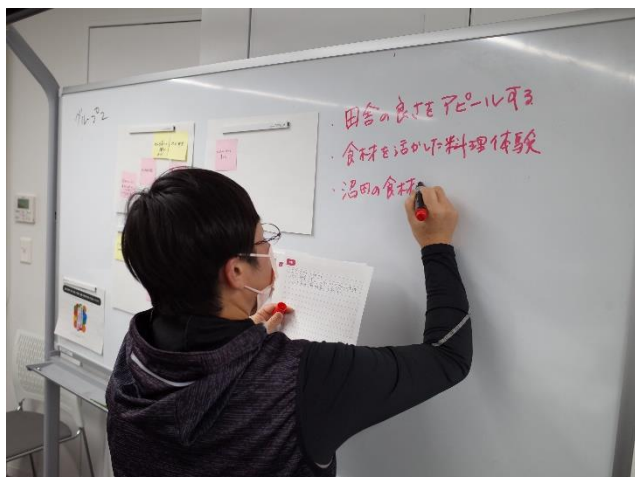
記録写真：グループワーク・発表の様子②



ぬまた未来共創会議Vol.1ぬまたの誇る食を通して“観光・産業・地域”を元気にする新しいアイデア

日時：令和4年10月5日（水）午後7時～8時35分 場所：防災会議室404・405

記録写真：グループワーク・発表の様子③



ぬまた未来共創会議Vol.1ぬまたの誇る食を通して“観光・産業・地域”を元気にする新しいアイデア

日時：令和4年10月5日（水）午後7時～8時35分 場所：防災会議室404・405

記録写真：沼田市長挨拶・所感





会議記録：市長所感

- 貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。3グループの皆さんから報告のあった内容については、しっかりと受け止め、内部でこれからよく練り直してみたいと思います。
- この共創会議は、今日が初めてで、会議の進め方も手探りでした。その中でまた内部で練って、食に関してまた次のステップに行きたいという時には、今日の時点ではいつとは言えませんが、また会議を開いていきたいと思います。その時には、また連絡をさせていただきますので、よろしくお願いします。
- 皆さんの発表を聞いていて、感じているところは、私も同じだと思いました。人に会える、またツアーはどうかという点。例えば、沼田のホームページを見ると、そうした提案がどんど出てくる、どこでお食事もよいですよというような、またふるさと納税もこうしたところに絡めて、例えば市内お食事券、お昼はどこでどうでしょうか、どういうところで食べられますよというようなことなど。
- やはり、グループ2の皆さんの言っていた「田舎」なんです。旧みなかみほどの観光資源は、悔しいがない。それでも沼田の強さというのを私は感じているのは、私も出身は利根郡だが、やはり歴史と文化と教育というのは、何百年も沼田が集積地だったはず。そういうところに食や学ぶこと、体験型ということが付与されてくればよいのかなというふうに思います。
- これは、私のことでお話し申し上げますが、市長になってから気になっていたのが、玉原のブナ林でした。玉原のブナ林は、白神山地に次いで、日本で魅力的なブナ林であるそうです。自然保護団体の方に、私はブナ林に行ったことがないので案内してほしいということをお願いしたら、トータル3日間案内してもらいました。休みのたびに計3日間歩くのは大変でしたが、これは本当に貴重だと感じました。体験型でその自然環境を学ぶことは、非常に価値があったと思います。
- 来年4月からは、今やっているボランティアの皆さんが、ネイチャーガイドの養成講座というのを始めるとのこと、それに私も申し込んでみようと思っています。1年でできなければ2年かけて、時間を見て通って、土日などの空いている時は、私もガイドで参加するということもやってみようと思っています。
- その皆さんが言っていたのは、地元の若い人たちにも参加してもらって、強制ではないので、空いている何日間かは協力してもらいたいということでした。池田地区の農家の方にも声をかけようと思っていますが、そういうことを積み上げて、つなげていくというのが、大事なのかなという気がしています。こうしたことを、例えば、沼田市1泊2日コースなどという形で、沼田市から見せる提案をして、半日歩いて老神温泉に泊まると、次の日はどうですか、どこで食事もおいしいですよと、そういうことも必要なのかなと感じます。
- 今日のご意見、大事にお預かりして、内部で練り直して、再度皆さんにお示しできるように、これから進めてまいりたいと思います。これからも市政に対しての率直なご意見をいただけるようお願い申し上げます、御礼のご挨拶とさせていただきます。



沼田市長 星野 稔